



2013 年度 活動報告



福岡YWCAハッピースクール秋のバーベキュー

日本 YWCA は 2013 年度より 公益財団法人へ移行し、内閣府より税額控除の証明を受けました。
ご寄付していただく皆さまは、税の控除が受けられます。詳しくは日本 YWCA のウェブサイトをご覧ください。

公益財団法人 日本YWCA

非核・非暴力による平和を実現するために



原発のない社会を目指します

3.11 原発事故で、原発も核兵器と同様に、長期にわたり深刻な放射能被害を引き起こすことが現実問題となりました。私たちは、いのちを大切にできる生き方を選んでいく決意を新たにしています。

- オリジナルキャラクター「Y田ブルシェちゃん」が、核問題についてゆる〜くつぶやくTwitterをはじめました！ <https://twitter.com/YWCAchan>  フォロアーも増えています。 <http://www.ywca.or.jp/>
- 手のひらサイズのフリーペーパー「くらげ」創刊！ 配布してくれる人を募集中です！ 詳しくはウェブで 



ブルシェちゃんもデモに参加！



線量計で測定
針が振り切れるホットスポット

東日本大震災被災者支援事業

「すべての女性と子どもの安全と安心のために」をキーワードに、中長期支援に取り組んでいます。

- 被災者受け入れのための住居支援 セカンドハウス
横浜・名古屋・神戸の3軒を提供 37家族 126名利用
- ところと身体の保養 リフレッシュ(保養)プログラム
〈夏〉函館・静岡・東京・名古屋・京都・大阪・呉・福岡 YWCA で実施 188名参加
〈冬〉東京 YWCA で実施 13家族 37名参加
〈春〉大阪・神戸 YWCA で実施 25名参加
- YWCA活動スペース「カーロふくしま」

2012年10月、JR福島駅の近くにYWCA活動スペース「カーロふくしま」を開設しました。福島に住む女性や子どもたちの交流の場として、女性グループやNGOとの協働プログラムではスペースを提供するほか、YWCA主催のワークショップやプログラムを実施しています。利用者のべ 1,100名 実施講座数：23講座



リフレッシュプログラム(東京YWCA主催「新地っ子の夏休み」)



リフレッシュプログラム(函館YWCA主催「北の大地プロジェクト」)



平和憲法をまもり、世界に広めます

日本YWCAは、憲法9条を変えて武力行使の道をひらくことは、子どもたちをはじめとする市民の命と生活を犠牲にすることであると考え、この動きに強く反対しています。一方、選挙の投票率の低さに表れる政治への失望が、政治の暴走を生んでいます。そこで、これから有権者になる中高生や子ども向けに、憲法を楽しく理解するゲームの作成・配布をしています。また、各地域のYWCAでは、学校やグループ向けの「憲法出前授業」や「憲法カフェ」を実施しています。



9条世界会議@関西でブースを出しました



市民レベルで東北アジアの信頼関係を築きます

韓国や中国など、国レベルでは、領土問題や戦中・戦後処理の問題をめぐって、たびたび軋轢が生じています。このような状況にあるからこそ、私たちは草の根での市民同士の交流が重要であると考えます。2013年もひろしまを考える旅に中国と韓国からゲストを迎え、日韓ユース・カンファレンスを実施しました。また、3年振りに日韓シニアカンファレンスを開催し、さらなる相互理解を深めました。



日韓シニアカンファレンス



パレスチナYWCAの活動を支援します

パレスチナではイスラエル軍による広範囲にわたる破壊が、今も日常的に行われています。けれども人々は、生命への危機にもかかわらず、希望を失わずに暴力のない社会を創ろうとしています。日本YWCAは、パレスチナYWCAの、紛争解決に向けたリーダーシップトレーニングや、女性の自立のための職業訓練、保育所運営を応援し、パレスチナYWCAと東エルサレムYMCAが共同で行っている「オリーブの木キャンペーン」を支援しています。イスラエル軍によってオリーブの木を根こそぎにされた土地に、オリーブの苗木を植える活動です。2013年度は日本YWCAを通して230本のオリーブの木を植えることができました。

オリーブの実収穫ツアー

10月19～28日 於:パレスチナ・ベツレヘム地方 派遣1名
パレスチナYWCAと東エルサレムYMCAの合同プロジェクト主催の、パレスチナ・オリーブの実収穫プログラムに参加して、一日でも早い正義と平和の実現のために、世界の人々と連帯しました。



世界各地からの参加者と

若い女性のリーダーシップを育てます

日本YWCAは、若い世代がのびのびと発言し、活動できる場を提供します。また若い世代をサポートするために、経験豊かな世代との協働も大切に考えています。すべての女性が年齢に関係なく、自立した個人として大切にされ、エンパワーされ、意思決定の場に自信をもって参画し、ともに社会を変革するチカラとなることを目指します。

ひろしまを考える旅2013

「被爆と被曝-ひろしまで考える平和の根っこ-」 8月7～9日 於:広島 参加者59名
(海外ゲスト5名、留学生3名、中高生11名、大学生10名、インターン1名、ボランティアリーダー6名含む)

映像作家の田邊雅章さんの「映像で訴える“ヒロシマの真実”」と題した講演から、原爆投下前の広島 の街に人々の暮らしと豊かな文化が息づいていたこと、それらが一瞬にして破壊されたことを痛みをもって実感しました。平和記念資料館やフィールドワークで原爆の跡を巡り、被爆証言を聞いて、平和への思いを新たにしました。



人間知恵の輪に挑戦!結構楽しい!



「原爆の子の像」と折鶴



交流会

日韓ユース・カンファレンス2013

「私たちの国における、原子力発電を取り巻く状況」 8月23～26日 於:韓国・ソウル 参加者42名

日韓の共通問題である原子力発電について、フィールドワークやディスカッションを通して共に学び考えました。



グループワーク



交流会



共に学びました

女性と子どもの権利を守るために



ジェンダーについて考えます

女性と子どもの権利を守るためには、私たちの社会をジェンダーの視点で問い直すことが求められています。ジェンダーの不平等の是正、女性への暴力の根絶は、世界の平和の実現と密接に関わっています。日本YWCAは、すべての意思決定の場に女性が参加することの大切さを訴えています。

第58回国連女性の地位委員会

「ミレニアム開発目標(MDGs)の女性と少女のための実行における課題と成果」
3月7～21日 於:ニューヨーク 国連本部 派遣2名

日本YWCAは、「自然災害のリスク削減と女性のエンパワメント」というテーマの政府とNGO主催のサイドイベントに登壇しました。そこで、「自然災害を生き延びるために、少女をエンパワーする総合的な教育を急ごう—東日本大震災被災者支援 心のケアを通して見えてきたもの—」と題したスピーチを行い、多くの支持を集めました。また、NGO主催の、福島放射能被害についての平行イベントで、福島の女性たちの現状についてアピールしました。さまざまな国の状況や活動について女性たちの声を聴き、世界から集まった参加者とネットワークを築くことができました。



国連本部



フェンスには横断幕が！



サイドイベントでのプレゼン



平行イベントで発言



若い女性コーカス



声明を採択



軍事基地と女性への暴力について考えます

軍事基地の存在が、女性や子どもたちの安全と安心できる社会を危機に陥れることは、沖縄をはじめ世界各地の女性たちの証言から明らかです。沖縄YWCAと連携して、基地をめぐる問題を女性の視点で取り組み、ニュースレター「きちきちニュース」を発行し政策提言を行いました。



声明・要請書

日本YWCAは、国連の諮問機関でもある世界YWCAとの連携と協働のもと、女性と子どもに関するグローバルな課題解決のために、政策提言を行いました。

- 2013年 4月30日 安倍晋三首相、岸田文雄外務大臣宛「『核の非人道性』に関する共同声明への署名拒否に抗議します」を提出
- 5月15日 橋下徹大阪市市長 / 日本維新の会共同代表宛「『慰安婦制度は必要』とする発言の撤回と国際社会の信頼回復の責任を求める要請書」を提出
- 7月1日 安倍晋三首相、岸田文雄外務大臣宛「国連拷問禁止委員会勧告—日本軍性奴隷制度に関する条項—に対する日本政府の誠実な回答と対応措置を求める要請書」を提出
- 7月17日 原子力規制委員会田中俊一委員長宛「関西電力大飯原子力発電所の運転継続了承に抗議します」を提出
- 7月17日 北海道電力(株)川合克彦取締役社長ほか宛「原子力発電所の再稼働申請に抗議し、すべての原子炉の廃炉を求めます」を提出
- 7月19日 安倍晋三首相宛「Japanese Government must apologize to the Japanese Army's Comfort Women!」を韓国YWCA/日本YWCA共同で提出
- 8月19日 安倍晋三首相宛「閣僚の靖国神社参拝に強く抗議します」
- 10月17日 従軍「慰安婦」に関する立場表明を世界のYWCAに送付
- 10月25日 安倍晋三首相ほか宛「集団的自衛権の行使に向けた解釈改憲、立法改憲、明文改憲に強く抗議し、立憲主義国家として、国民への説明責任を果たすことを求めます」を提出
- 12月13日 安倍晋三首相宛「特定秘密保護法の強行採決に断固抗議します」を提出
- 12月26日 安倍晋三首相宛「首相の靖国神社参拝に強く抗議します」を提出
- 12月26日 安倍晋三首相宛「日米地位協定の改定と米軍普天間基地の無条件全面返還を求めます」を提出

その他、他団体と協働したアピール、キャンペーン等、多数行いました。

2014年度もご支援をお願いします！

日本YWCAの活動を財政面から支えてください。寄付によって女性と子どもをエンパワーする活動に参加してください！

賛助費

日本YWCAの活動全般を継続的に支えてください。
どなたでも賛助員になれます。

年間 一口 3,000円 / 5,000円 / 10,000円

ピースメーカーズ募金 ～女性が創る安全な社会のための寄付～

金額は自由

若い女性のリーダーシップを育てるプログラムをご支援ください。

災害時支援募金

紛争や自然災害の被災者へ緊急/中長期支援を行います。

金額は自由

オリーブの木キャンペーン募金

一口 3000円で1本のオリーブの木をパレスチナに贈ります。

東日本大震災被災者支援募金

金額は自由

中長期支援体制に入り、現在 心のケアに力を注いでいます。
ピーチリボンキャンペーンを展開中



大阪YWCA冬のミニスクール

お振込み先

郵便振替

00170-7-23723

公益財団法人 日本YWCA

*通信欄にご寄付の種類をご記入ください。

(例: 賛助費、ピースメーカーズ募金、災害時支援募金、など)

*税の控除が受けられます。詳しくは日本YWCAのウェブサイトをご覧ください。

*年間3,000円以上のご寄付で、機関紙「YWCA」を1年間お届けします。

2013年度 寄付報告

日本YWCA賛助費	1,763,000	円
ピースメーカーズ募金～女性が創る安全な社会のための寄付	1,386,421	円
災害時支援募金	2,258,018	円
内訳 災害時支援募金	369,526	円
パレスチナYWCA支援募金	217,000	円
フィリピン台風被害被災者支援募金	1,661,492	円
変革の力基金	10,000	円
オリーブの木キャンペーン募金	691,061	円
東日本大震災被災者支援募金	13,667,414	円
寄付合計	19,765,914	円

ありがとうございました